

# 国立長寿医療研究センター（NCGG）バイオバンク

## NCGGバイオバンクについて

日本は、今や四人に一人が65歳という高齢社会。認知症や関節疾患などの加齢性の疾患に悩む方々が急増しています。国民の健康長寿を伸延するには、こうした加齢性の疾患を克服が必要不可欠です。NCGGでは、こうした疾患の基礎研究・臨床研究のための研究インフラとして、平成24年2月に、生体試料とそれに付随する診療情報を一元管理とし、研究者に提供（分譲）するバイオバンクを設置しました。

NCGGバイオバンクは、高齢化が進むわが国の社会構造を鑑み、認知症や関節症などの高齢期に発症する疾患を中心としたバイオリソースの収集・提供（分譲）を行っています。質の高い生体試料の収集、近年の医学研究には欠かせない生化学検査、画像検査、心理検査等の診療データをきめ細かく蓄積している世界でも数少ない老年病研究のためのバイオバンクです。

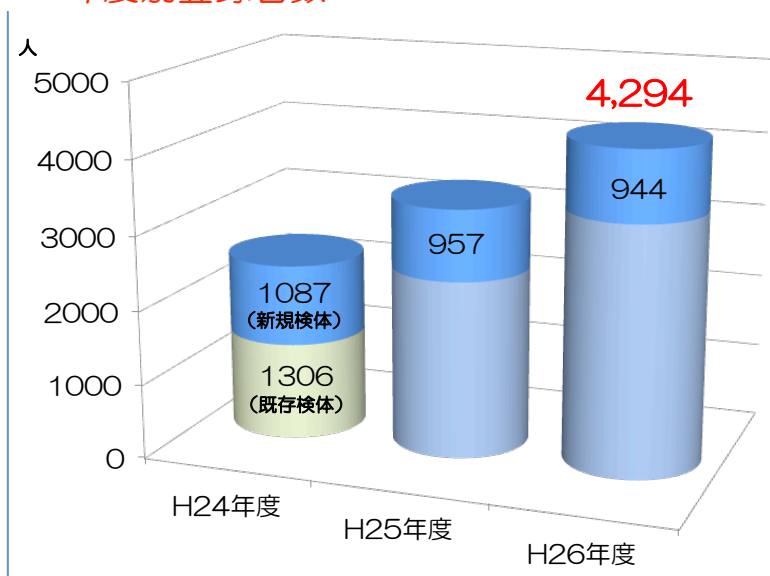
## NCGGバイオバンク実績

NCGGバイオバンク登録者数は、同意のある既存試料分を含め、H26年度末で4,294人となった。

これまでに述べ38回の分譲を行い、延べ4,644症例分の試料・情報を提供した（平成27年3月末現在）。

- 分譲された検体の内訳  
血清：3,644症例  
血漿：334症例  
DNA：96症例  
組織：60症例  
など

### ❖ 年度別登録者数



### ❖ 試料分譲実績

